

英語を楽しく

No. 5 6

2, June

☆ 英語活動が小学3年生から始める案が、政府の教育再生懇談会から出されましたが、私にはその理由はわかりませんが、恐らく隣国の韓国政府の「小学3年生から英語教育を始め、高校を卒業した者は全員が流暢な英語を話せる力つける。」といった方針を意識してかも知れません。

「国際間の競争に打ち勝っていくためには、英語をマスターすることが必須」かも知れませんが、そのための英語活動ではきっと楽しくない英語活動になるでしょう。やはり、英語は楽しい・英語を通じて国際理解ができる・外国の人に言葉が通じて新鮮な体験ができる 等といったことが英語活動をする原点でありたいものです。

☆ 英語を学習していて英語表現に「ふ～ん、そんな風に言うのかあ」「そんな意味かあ」ということが多いもの。そんな体験が英語圏の人の考え方や風習を理解する力になるように思うのですが。以下、ちょっとした例

① Shelled (殻無し)

② Unshelled (殻付き)

日本人の感覚からすると ①と②は反対のように思うのですが **shell** は動詞にすると「殻をとる」という意味で、**unshell** は「殻を取らない」という意味なのです。

① like (好き)

② love (愛する)

日本人が、誰かに “I love you .” と言うとしたら特別に親しい人にしか言わないけれど、**love** = (愛する) と言った意味だけでなく 「とっても好き」・「とっても気に入っている」という意味で、**I love her** とか **I love this car.** などと使われる。**like** では自分の気持ちを十分表現できないからね。

① out (アウト)

よく使われる **out** (アウト) 【 ---- と関係ない 】との感覚
野球でアウトになった走者→もうあなたは今の時点で試合とは関係ない人になりました。

out (アウト) の言葉がどんなとき使われているか、機会があったらきっと見つかりますよ。

*もし、男性が、彼女に “I like you.” すると彼女は「な～んだ。私を好きって？ そんな程度？私を愛していると思ったのに。」と不満を感じさせることでしょう。

▼ デート中、彼女に **love** と言うつもりで **rub** と発音しないようにね。**rub** は擦る (こする) という意味ですから もし、“I rub you forever .” (僕は永遠にあなたをこするよ) と言ってしまうと、きっと彼女は、「急に何 言うの？」とびっくりすることでしょう。

Yoshi